

栃木労働基準監督署において、
「『緊急』労働災害防止団体連絡会議」を開催しました。

栃木労働基準監督署では、管内における労働災害が対前年同期(1～5月)比35件増、割合にして21.3%増と、前年に比べて大幅に増加している状況を受け、当署管内で活動する労働災害防止団体24団体を参集し、平成26年6月18日、JAしもつけニューアプロニーにおいて、労働災害発生の減少に向けた緊急の連絡会議を開催しました。



「『緊急』労働災害防止団体連絡会議」の様子

本会議では、事業場の経営トップ自らが「安全」を「宣言」することによって主体的に災害防止活動を実践する「栃木労基署管内『安全宣言』運動！」のさらなる推進や、災害発生の傾向を踏まえて設定した「不安全行動追放キャンペーン」を説明するとともに、参加団体に「要請書」を交付し、労働災害防止対策の徹底について協力を要請しました。



参加団体に要請書を手交する小野寺栃木署長